

横浜市教育委員会  
定例会会議録

- 1 日 時 平成24年7月10日（火）午前10時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席委員 今田委員長 中里委員 奥山委員 坂本委員 山田委員
- 4 欠席委員 間野委員
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

# 教育委員会定例会議事日程

平成24年7月10日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 教育長一般報告・その他報告事項  
平成24年度横浜市立大学と横浜市立高等学校との連携協議会について ほか
- 3 誓願審査  
受理番号6 教科書に関する請願書
- 4 その他

[開会時刻：午前10時03分]

～傍聴人入室～

今田委員長 初めに会議録の承認を行います。6月12日の会議録署名者は中里委員と奥山委員です。また、6月22日の会議録の署名者は坂本委員と私です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員 <了 承>

今田委員長 それでは承認いたします。なお、字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

次に、議事日程に従い、教育長から一般報告をお願いします。

山田教育長 【教育長一般報告】

### 1 市会関係

それでは一般報告をいたします。市会との関係については、この間、特段ございませんでした。

### 2 市教委関係

#### (1) 主な会議等

- 6/25 平成24年度横浜市立大学と横浜市立高等学校との連携協議会
- 6/28 平成24年度第1回横浜市児童・生徒指導中央協議会

#### (2) 報告事項

- 平成24年度横浜市立大学と横浜市立高等学校との連携協議会について
- 「平成23年度横浜市学力・学習状況調査（小・中学校）報告書」について

市教委の主な会議等でございますが、6月26日、今年度初めての横浜市立大学と横浜市立高等学校との連携協議会、いわゆる高大連携協議会が開催をされました。中身につきましては、後ほど担当課から説明させていただきます。

6月28日、これも今年度第1回の横浜市、児童・生徒指導中央協議会が開かれました。各会の関係者が一堂に会して、児童生徒指導のあり方などについて定期的に協議を行っている会議を開催いたしましたところでございます。

それから、報告事項でございますが、これは先ほど申し上げた横浜市立大学と横浜市立高校との連携協議会について報告をさせていただきます。あわせて、平成23年度に実施をしました、横浜市の学力・学習状況調査、これは小中学校の報告書について、これも担当課から説明をさせていただきます。

### 3 その他

その他については、特段ございません。  
以上でございます。

|           |   |
|-----------|---|
| 今田委員長     | <p>教育長の報告が終了しましたが、ご質問等ございましたらどうぞ。よろしいですか。</p> <p>それではご質問がなければ、別途、所管課から説明とありました「平成24年度横浜市立大学と横浜市立高等学校との連携協議会について」、説明をお願いします。</p>   |
| 高橋指導部担当部長 | 指導部担当部長、高橋でございます。   |
| 高橋高校教育課長  | 高校教育課長、高橋でございます。  |
| 高橋指導部担当部長 | <p>それでは、本年度の横浜市立大学との連携協議会につきまして、ご説明を申し上げます。この会議につきましては、毎年、この時期に1回開催しているものでございまして、前年度の連携の取組と、それから、新年度のこれからの連携の取組の進め方、こちらを協議する場ということとなっているところでございます。</p> <p>では、詳細につきまして、高校教育課長よりご説明申し上げます。</p>  |
| 高橋高校教育課長  | <p>それでは、お手元でございます資料に基づきまして、要点を説明申し上げます。</p> <p>開催日は先ほどもございましたように、6月26日火曜日。会場は横浜市立大学でございます。目的はそこにありますが、平成19年に横浜市立大学と横浜市教育委員会との間で締結されました、教育連携に関する協定書に基づいて具体的な連携方法や取組について協議することを目的とした会でございます。</p> <p>当日の協議内容は大きく2点と3その他でございます。</p> <p>まず、協定に基づく平成23年度の取組実績の報告がございまして、意見交換がございました。また、今年度、平成24年度の取組計画について、報告及び意見交換がございました。また、2といたしまして、協定に基づかない高大連携の取組とそのほかの連携について、報告と協議がございました。</p> <p>最後、4番目でございますが、その中の今年度、平成24年度の主な取組でございます。金沢高校、横浜サイエンスフロンティア高校、横浜商業高校の3校の主な取組内容を表にしてまとめております。また、今年度、横浜市教育委員会の高校教育課といたしまして、横浜市立大学の教員による英語科教員研修を8月に実施する予定でございます。</p> <p>以上、簡単ではございますが、ご報告いたします。よろしく願いいたします。</p> |
| 今田委員長     | <p>所管課から説明が終わりましたが、何かご質問等ございましたら、どうぞ。よろしいですか。それでは、特にご質問がなければよろしいですか。ご苦労さまでした。</p> <p>それでは、次に平成23年度横浜市学力・学習状況調査（小・中学校）報告書について説明をお願いします。</p>  |
| 入内嶋指導部長   | 指導部長、入内嶋でございます。   |
| 吉原指導主事    | 指導主事室長の吉原でございます。  |

室長

入内嶋指導部  
長

それでは、私のほうから簡潔にご説明申し上げたいと思います。

平成23年度横浜市学力・学習状況調査、小・中学校の報告書がまとまりまして、各学校のほうへ配布したところでございます。これは毎年行っているものでございますが、全小中学校に配布いたしまして、各学校の学力向上に生かすものでございます。

一番最初に概要がございます。目的でございますが、教育委員会においては、本市の小中学校の児童生徒の学習状況について、分析的・総合的に把握して、施策に活用したり、児童生徒の学力向上などに生かすということでございます。

各学校におきましては、その結果をもとに、自校の子どもたちの学習状況をとらえまして、指導や評価の改善、また、個に応じた指導の充実に生かすというものでございます。

三点目は、児童生徒それぞれにおいては、自らの学習状況を捉えて、自分の学習改善に生かす。この3つが大きな目的になっております。

実施日は、小学校全学年が本年2月9日、10日。中学校1・2年生につきましては、本年3月1日、2日。3年生は進路との関わりから、昨年11月1日、2日の日程で行いました。

内容でございますが、教科調査ということで、「基礎・基本問題」と「活用問題」ということでございます。国語と外国語につきましては、聞き取りテストもでございます。小学校1・2年生については、国語、算数、3年生から6年生は、国社算理、4教科。そして、中学校1年生から3年生につきましては、そこがございます、5教科ということでございます。

それから、生活・学習意識調査として、子どもたちの生活、また学習に対する意識を調査するものも行っております。対象は先ほど申しました、全児童生徒で、約27万人ということでございます。

昨年度の結果と考察でございます。一番初めに書いてございますが、経年変化を見る多くの問題の中で、正答率が上がっている状況が見られるということと、特に顕著なものにつきましては、知識・技能の定着を見る問題でしっかりできていた。しかし、一方で記述式等の正答率が低いということで、課題があるということでございます。

具体的に申し上げますと、そこにある3点でございます。

一つは今申しました、基礎・基本の知識・技能の定着を見る問題の正答率が上がったということは、各学校で授業の工夫改善がなされていて、子どもたち自身にしっかり身についたのではないかと考えられます。本市は「しっかり教え、しっかり引き出す指導」ということで、各教科等で重視しているところでございます。

それから、各学校では、調査結果をもとに分析チャートというのがございまして、これはCDで各学校へ配付しているものでございますが、その学習状況や意識調査を分析いたしまして、全小中学校が「学力向上アクションプラン」なるものを作成しております。それに基づきまして、教員の授業改善、児童生徒自身の学習改善に努めているということの成果が現れてきていると考えております。

二つ目は、課題でございます。この活用問題は、とりわけ記述式問題の正答率が低いということでございます。活用する力というのは、知識・技能を実生活の中で活用していくとか、または、様々な問題解決に対しまして、自ら構想を立て、実践して、評価・改善していくという力でございます。このような問題の正答率が低いということです。

今回の学習指導要領でも言語活動の重視ということが言われているわけですが、今後、より一層児童生徒自身が授業中に積極的に自分の言葉で説明したり、また、しっかりノートに記録したりできるようにすることが重要ではないかと考えます。

さらには、教育委員会におきましては、横浜版学習指導要領に基づいて、言語活動が充実するよう授業の工夫・改善に向けたよりよい指導方法の例を示したり、各学校の授業づくりの指導・助言に努めていく必要があると考えます。

三点目です。考えをよく発表する児童・生徒ほど正答率が高いという結果でございます。小学校では学年が進むにつれまして、「自分の考えを発表することがよくある」と、意識調査の中でも答えた児童が減少してまいります。一方、中学校のほうでは逆に増加していきます。後ほどご説明申し上げます。そして、「考えをよく発表する」児童生徒ほど正答率が高いと、当たり前と言えば当たり前かもしれませんが、やはりそういう結果が出ております。

各学校においては、「思考力、判断力、表現力」の育成ということが言われるわけですが、自分の考えを書いたり、発表したり、意見交換したり、そのような授業をつくり上げていくということが課題かと思えます。

教育委員会においては、さらに授業の工夫・改善が進むように、「授業改善ガイド 教材研究編」、仮称でございますが、本年度作成して、更に各学校に発信していきたいと考えております。また、実生活に結びついた学習とか、直接体験を大事にした学習によって、思考力・判断力・表現力等をしっかり身につけさせることなど、教材研究、授業実践を具体的に示していきたいと思っております。

以下は（１）の基礎・基本の知識・技能の定着ということで、例えば、小学校6年生の国語、漢字の読みということで、文字を書き誤るの「あやまる」が平成19年の正答率が82%、22年が84%、昨年度が88%というように上がってきていると。それから、隣は中学校の数学の円の円周角、それから中心角の問題でございます。それから裏面にまいりまして、4年生の社会科の地図上の距離もこのような形で上がってきています。それから中学校2年生の外国語もこのような形で上がってきているということでございます。

それから、2番目は活用問題ということで、中学校2年の理科の酸化と還元の問題でございますが、右側でございますように、設定した正答率ということで、それに対しまして、実際の正答率が12%と大変難しかったと言いますか、そういう結果が出ております。

それから、3番目は先ほど申しました、考えをよく発表する児童生徒についてでございますが、上が小学校、下が中学校になっておりまして、「授業では自分の考えを発表することがありますか」の質問に対する、「よくある」というのが、1番で答えていることですが、自分の考えを発表することが児童が、①を見ていただくと、学年が進むにつれて減少していると。それから、中学校のほうは逆に、下を見ていただきますと、②で増加していると。考えをよく発表する子ほど、③、④ですが、正答率が「発表を余りしない」というお子さんよりも上がるというような、このような結果になっているということでございます。

本日、ご報告させていただいて、この後、記者発表をさせていただく予定になっております。よく言われることですが、この結果をどう生かしていくかというのが私どもの一番の課題と認識しているところでございます。以上でございます。よろしく願いいたします。

今田委員長

所管課から説明が終わりましたが、何かご質問等ございましたら、どうぞ。よろしいですか。

それではご苦労さまでした。ご質問がなければ、議事日程に従い、請願審査に移ります。

受理番号6の請願書について審査を行います。所管課から説明をお願いします。

吉原指導主事  
室長

指導主事室長の吉原でございます。受理番号6につきまして、考え方をご説明申し上げます。

受理番号6番につきましては、「教育長に専決させる請願及び陳情の指定に該当し、教育長専決になるもの」と判断されます。以上でございます。

今田委員長

所管課から説明が終わりましたが、何かご質問等ございますか。特にご意見等がなければ、受理番号6は、教育長専決としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

今田委員長

では、受理番号6については、教育長専決で回答するとともに、報告をお願いします。

以上で請願審査を終了いたします。

本日の案件は以上です。事務局に確認ですが、何か報告事項はありますか。

重内総務課長

7月2日、個人1名から中学副読本にかかわる要望書が、7月2日、横浜の教育を考える会から、中学副読本にかかわる陳情書が提出されました。これらの要望等につきましては、教育長に委任する事務等に関する規則第2条の規定に基づき、事務局で調整し、回答させていただきます。

次回の教育委員会臨時会は7月27日金曜日の午前10時から開催予定でございますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

今田委員長

皆さん、よろしいでしょうか。それでは、次回の教育委員会臨時会は7月27日金曜日の午前10時から開催です。別途通知しますので、ご確認ください。

その他、委員の皆さんから何かございますか。

特にご発言がなければ、これで本日の教育委員会定例会を閉会といたします。ご苦労さまでした。

[閉会時刻：午前10時20分]